

学校便り 7月号

令和4年6月24日発行

和歌山市立岡崎小学校

学校長 塩谷 通功

「自分にはまだまだ可能性があると感じる事ができた旅だった。」

海洋冒険家の堀江謙一さん(83歳)が、今月4日未明、69日間、約8500キロの航海を経て和歌山県沖の紀伊水道にゴールしたという記事が目にとまりました。

堀江謙一さんは、23歳の時にも、今回と逆ルートで太平洋横断に成功しています。60年前の航海との大きな違いは、通信手段の進歩によりほぼ毎日衛星電話で交信が出来たそうで、精神の安定が図れたとのことでした。航海中は、波の穏やかな夜、満点の星空に心を癒され、改めて自然の素晴らしさを実感されたようです。

インタビューの最後には、「考えているだけでは見えてこない世界がある。いくつになっても挑戦すれば、世界が開け、刺激を受けられる。生涯チャレンジャーでいたい。心にマグマがたまったら、また出かけるかもしれない」と結んでいました。

さすが、冒険家たるゆえんの言葉ですね。私には到底まねのできないことですが、結びの言葉には心を動かされるものがありました。私も小さいことからコツコツと挑戦し続けることで、自分を成長させたいと思います。

いつも助けていただき、ありがとうございます！

焼山で子供たちの通学の様子を見守って下さっている地域の方から、スズメバチの巣があるから駆除の方がいいよと学校にご連絡いただきました。

当該地区の自治会長さんにご相談させていただいたところ、地主の方と連絡をとってくださり、業者により駆除することができました。また、駆除の業者が来るまで、子供達の安全をとということで、下校の見守りまで買って出てくださいました。

いつも子供達のことを気にかけて下さっている岡崎地区の皆様には、本当に感謝しております。子供達の姿を見るたびに、「お帰り。」と声をかけていただいております。また、子供達もその言葉に答えるように、「ただいま。」とあいさつを返していました。あいさつは、人と人が心を通わせる素敵なコミュニケーションツールです。ちょっとしたことですが、ご家庭でも子供達に、「あいさつ」についてお話くださっていることに感謝いたします。

一学期も残すところ、一か月となりました。引き続き、ご支援ご協力よろしく
お願いいたします。

